



しゅら

おもな内容

- 2P 集中豪雨のツメ跡
- 3P 県立盲学校生十三湖
畔でキャンブ
- 4P ふるさとの歴史
- 5P 保健衛生
- 6P 県税を納めましょう



家族刺しゅうの内職

○：夫婦による出かせぎは、子どもの健全育成をまなげ、教育をおろそかにする。かといって適当なしごとがないというのが悩みのタネだった。

○：これに対処するため、村では「内職」の導入を進めることになり、六月から県・内職指導所のアドバイスをうけて、ネットレスやフランス刺しゅうの内職を始めている。

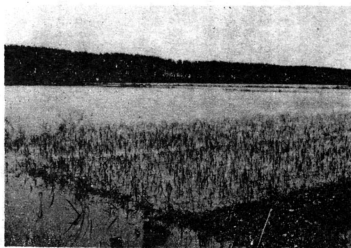
○：いまのところ、内職をやっているのは三十人前後で、一日三百円～四百円の収入。熟練すれば五百円以上になるといふから家計の大きな足しになる。

○：家事の余暇を利用できるとあって、いまではサラリーマンの奥さんたちの間でも好評である。「内職」をしたいかたは、いつでも気軽に役場企画室へお申し込みを。

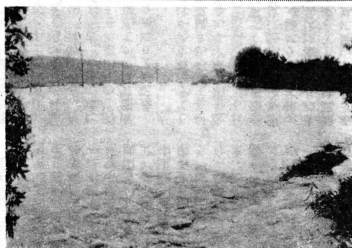
真剣にフランス刺しゅうの内職講習をうける主婦



8 上旬号
No.69



水田は70ヘクタール冠水した



太田川のはらんんによって道路も水りたし

水田の冠水の被害3,150万円

集中豪雨のツメ跡

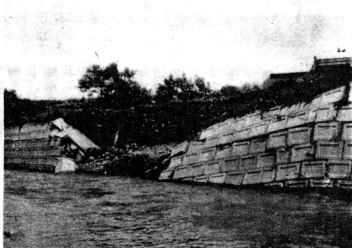
7月7日から8日にかけて津軽全域を襲った集中豪雨は、本村の水田や農業施設にも約3,148万円の被害をあたえました。

八日午後七時現在の雨量は、一〇〇ミリを記録し、相内川は警戒水位一九〇センチを突破して二二〇センチに達しました。このため、相内川水系をはじめ磯松川がはらんんし、水田の冠水七〇〇、浸水一五〇に及び、四百四十八万円の被害をうけました。一方、農業施設も一千七百万円の被害となりました。各地区の被害面積と金額はつぎのとおりです。
△水田の冠水
▽実取地区 二〇〇 岩井地区 二二〇 掛川地区

一一〇 太田地区 一五〇 磯松地区 一〇〇、▽合計七〇〇、▽被害金額 四四四十八万円。
△農業施設 △実取頭首工 二千万円 関係人員、三和久ほか九二人、受益面積一〇〇〇、▽太田・実取頭首工 十万円 奈良喜八郎ほか十六人、一五・三〇、▽太田・実取水路 十万円 右同、▽磯松・唐川溜池取水口 五百万円 山田清作ほか九人、七〇、▽相内開拓揚水機 不明 県施設、安保順三ほか一〇人、一五〇、▽合計二千七百万円。



家屋の浸水は2戸にとどまだったが、一時は大変心配された



太田川のブロックたみ護岸も決壊

は本当にあのときは、ぼんやり、何も手につかない状態でした。目標を失ったうろたな気持とでもいうのでしょうか。そのとき、手をとって喜び合ったという話は聞きました。ニコニコしていた人は見当りませんでした。みんな手ばなしで涙を流していたようです。当然でしょう。みんな肉親のおびただしい血の犠牲の上に得た平和と自由だったからです。この日を「心の誕生日」として、いま平和と自由を受けている者として改めて考えたい、この日です。

毎年八月になると、どうしても忘れ得ないのは、「終戦記念日」です。八月十五日、あれから、もう二十七年たちます。毎年この日のこと、その前後の日のことを、あざやかに思い出し、ぐっとかみしめる思いで迎える人。悪い夢を見たと思って忘れてしまいたい人。この日を迎える人の気持ちはさまざまです。あの日以来、国民の気持を表現したいくつあのことばを思い出します。突然自失。虚脱状態。そうです。わたくしたちは

季節の歩み



レクリエーションを楽しむ盲学校の生徒たち

目の不自由を克服して

県立盲学校の生徒たち

十三湖畔でキャンブ

青森市の県立盲学校では十九日から三日間、十三湖畔でキャンブを行いました。目の見える先生たちはいっさい口を出さず、計画から準備、実行まで目の不自由な先生と生徒たちによって行われたのだからすばらしい。

参加したのは高等部の生徒二十八人と教師二十人でしたが、大自然のなかで目の不自由を克服し、計画的な集団行動の訓練を目的として行われたものです。目の不自由な生徒たちによって設営されたテント村では、朝六時の起床から夜十一時までの就寝まで、ハイキング、水泳、キャンブファイヤー、金木高校相内分校生徒との交歓会などの日程を消化し、いかに簡素で工夫のある生活ができるかを体得しました。



安全運転ごろうさん！

—十三婦人会—

運転者にガムをサービス

「夏の交通安全運動」は七月二十一日から三十日まで行なわれましたが、十三婦人会(会長、奈良イデ)は、この運動に呼応して運

転者にガムをサービスして事故防止を呼びかけました。本格的な夏の到来とともに、十三湖畔はマイカーで訪れる観光客が多く、なかでも釣りを楽しむ人たちの連日のように殺到し、交通事故が心配されるため十三婦人会では運転者の疲れを少しでもやわらげようとガムのサービスを行了ったのです。

「大変感謝していただき、ありがとうございました。」

社教シリーズ

⑦

従来、教育といえは、学校教育中心でありましたが、現代が教育の時代であるとか、教育爆発の時代、教育競争の時代といわれながら、その内容は、じつは、学校教育の時代であり、学校教育競争の時代でありました。

だから、教育ママの実態も、学校教育ママであり、家庭教育ママではないのでした。このようにな学校教育偏重の限界に気づいたことが、学校教員以外の教育の重要性を強調するとともに、教育の全体構造のなかで、学

教育の生涯保障とは…

生涯教育というのは、教育の生涯保障といつてもいいでしょう。それは、生活保障、社会保障と同じように人間が人間らしく生きていくために欠くことのできないものであります。こんなことをいふと、教育なんか生涯の全体構造のなかで、学

より保障していくため、それらのもろもろの保障とともに保障されるべきことであるとします。それは教育と相互に補充する関係にあるものと考えたほうがよいでしょう。つまり、生活を保障するためにこそ教育も保障されるべきです。

されなければならぬと思ふ。だから、児童が児童手当をうけ、老人が老令福祉年金をうけるのと同じように、教育も保障される必要がある。ただし、教育の場合には、すべてのひとに保障される必要があり、生活保障が個人の経済状態に応じて行なわれたように教育の場合には、個人の能力に応じて、生涯にわたって保障される必要があります。

このように生涯教育という精神的福祉が、他の物的福祉と同じように生涯にわたってゆりかごから墓場まで保障されなければならないし、これがまた、教育をうける権利であり、教育をうける権利の生涯保障なのです。

十三地区の家屋を調査します

明治大学建築学科

8月10日から21日まで

明治大学工学部建築学科の建築意匠研究室(神代雄一郎教授)では、六年前から漁村集落のすがたを調査しています。こゝしは十三地区を調査することになりました。

調査は八月十日から二十一日までの十日間、大学院学生、ゼミナール生三十人を動員して行なわれます。調査の目的は、近年都市にかぎらず地方でも開発が次々と計画されており、それが画一的なものであるため、いろいろな問題が生じています。そうしたことから、その土地の風土に対応した計画を進めることが、ぞまれています。その意味から、いまのうちに魅力ある集落の姿を図面等に記録しておくというのです。また、調査は毎戸を実測しますが、建築的な柱、寸法や間取りについては支障のないかぎり室内へ上がらせていただきますので、よろしくご協力ください。

その他、歴史、地理、民俗等も調査します。

人権相談に応じます

人権の番人々という間にも正しい人権の考え方を広めたいと思います。人権問題にかぎらず相談したいことをお持ちの方、さっそく次の方々のところをおたずねください。

- △人権擁護委員、わたくしたちの人権が侵害されたいに監視し、もし人権が侵害された人がいた場合には相手になつてこれを救済したり、人々
- △管内地区 米谷勇吉
- △協元地区 斎藤敬勝
- △十三地区 浜田男茶



村では昨年来、村史の編集に着手し、資料の収集にためていますが、その範囲は全国にまたがり短期間にまとめあげるのは非常に困難であります。しかし、まだ世に出ていない貴重な古文書が発見され、今回これを閲覧する機会にめぐまれましたことは、暗夜に灯を見出した感じがします。これを遺跡や遺物と対照しながら、やがて編集、刊行することとなりますが、その中間において断片的に「ふるさとの歴史」を掲載し、大方のご指導をおあぐ次第です。なお、村民のみならずには、愛郷心をもって遺跡や遺物の保護に関心をもちたいこと願っています。

応永の水の乱

唐崎城《青山城》の巻

山内 英 太 郎

(1)

藤部南部守行は博奥守に任命されて東日流(津経)をその麾下に置かんとして戦備を整えていた。そのために東日流の一大勢力であり安東一族を征伐したければならぬとして、応永十三年(一四一四)兵を率川城に入り、川城に入り、川を下り福島城に入った。

応永二十二年九月南部勢は十三の福島城攻略の軍勢を進めた。十三の福島城は東日流の咽喉にあつて方八十町許を築き内にて面々要害を構えた大巨城であった。また、南に中里城(今城)今泉)に青山城(唐崎城)うしろに山王の靈場を守る唐川城に羽黒城、湖上唐島に中島さく(伏見館)北小治岩崎城を配し、青山城主春山彌正は中里城を管轄し、福島城主安東盛季は一子康季唐川城に配置していた。物見の兵によつて南部勢襲来が報じられた。

長蛇のように連なり進む南部勢はやがて乙部地(尾別)の片山道にさしかかた時である、古川右近の突如いける青山勢は、山上に如員の音を吹鳴した。これを合図に幾千本と横止めた大丸太が地鳴りをしてた南部勢の頭上に落下して見られたに数百騎は染血にまみれて惨々たる地獄図絵をなした。

城主青山彌正は中里城に陣をしいた。茅原に馬印をなびかせて南部守行は一子義政と共に一万五千の大軍をひいて陣修らの如く押し寄せた。青山勢はわずかに三百騎である、多勢に無勢で戦果は自ら予期されていたが、こゝで、十三の御所安東武士の面目にかけて敵に大損害をあたえるため必殺の作戦を立て安東軍の先陣をかき取り重臣古川右近道一、葛原七郎太夫、大高八石三門、藤崎助太夫、松崎四郎、近道高裕、奈良長五郎、三國孫九郎の八将は各々民兵に移築地(浦市)の氏兵を加え南部勢の急所を突かんとして来襲を待っていた。時は晩秋である。肌をき

(筆者は郷土史家・村史編集員)

X+Z= Y

年金制度は通算されます

「出稼ぎに出て、いるため半年は出稼先で厚生年金をかせ、家にいる半年間は国民年金に入っています。これは厚生年金も国民年金も期間が足らなくても年金をうけることができて、心配をお持ちの人もある」と

陸・海・空自衛官募集中

自衛隊では二等陸、海、空士の募集をしています。規律ある団体生活で身につけた技術、責任感や根性は一般社会においても、広く歓迎されます。もちろん、その人が希望すれば、自衛隊内で上に進むことができます。また満期除隊になって一般の民間会社に勤めるときも、有利な条件で就職することができます。

○資格 十八歳以上、二十五才未満の日本国籍を有するもので中学校卒業程度以上の学力のある者。

○給与 衣食住支給で初給給三万三千円(衣食住を給給に換算すれば、実質初給給は、約四万三千円くらいになります)のほか各種

に加入することになっていきます。そしてどの制度に加入するかはその人の職業によっても異なります。したがって退職したり、職業をかえたりしますと、加入する年金制度もちがいますから、一つの制度だけでは年金をうけるに必要な期間に足りないこともなります。

そこで、いろいろな年金制度をかついても、それぞれの加入期間を加えて必要な年数を納めれば年金は支給されることになっています。

国民年金に加入していた人は国民年金の加入期間と他の年金制度に加入していた期間を加えて二十五年あれば年金は支給されます。この場合、きり目のないようすく国民年金の国民年金の加入届や、やめる手続きをすることが大切です。

福祉年金がかわります

福祉年金は十一月一日から次のとおり変わります。

- 老令福祉年金 月額二千三百円から三千三百円
- 障害福祉年金 月額三千四百円から五千円
- 母子福祉年金 月額二千九百円から四千三百円

保健衛生



夏の妊婦の栄養

ふだんより二〜三割多く！

夏は高温多湿、健康な人でも夏バテをおこします。とくに夏は暑さのため妊婦にとってのきつにくい季節です。つわりの時期にぶつかったりすれば食事がすまないことも多くなります。しかし、おなかの赤ちゃんを充分発育させるためには母体の健康を保たなければなりません。ふだんより二〜三割多く栄養をとるようしななければなりません。

もちろん消化のわるいもの、腐敗しかけているものは食べないようにします。食欲がなくてムカムカするときは、無理をせず、一日三回という習慣にとらわれないで何回にも小分けにして食べます。

食欲をますために、香辛料、マヨネーズ、酢のものなどをうまくつかいましょう。いろいろのいいサラダに口にあうドレッシングをかけたたり、ごはんのかわりにケーキのようなものを食べるよう、いろいろと工夫してみるのいい方法です。

むくみに気がついたら、塩気の強いもの(みそ、しょうゆをふくむ)を水分をひかえてすや受診してください。

疲れをとるには

夏の疲労は、暑さが生理的な重荷にたまって慢性的な疲れとなります。これを防ぐには、次のようなことに心がけましょう。

- ① ねる前に入浴し、充分睡眠をとり、その日の疲れをとり去ってしまいます。
- ② 食生活を充実して体力をつけます。なるべく生粉質のものや、肉、魚、肉、卵、大豆製品、たん白質やビタミン類をたくさんとり、すすんで体をきたえます。



県税を納めましょう

自主納税を 進めましょう

みなさんが、自ら進んで県税を納期限までに銀行・郵便局または県税事務所の窓口へ完納していただくことにより、大変な人手とむだな経費が節約でき、豊かな県づくりに役立てることが出来ます。

ません。事情調査のため職員が訪問した場合は納税のご相談には、応じます。が、お金は原則として受けとらないことになっています。納期を過ぎても自分で納めましょう。

納税は納税 組合をおおて

臨時徴収は いたしません

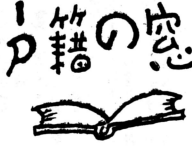
県税の滞納がありますと、これまではお宅におうかがいして徴収するやりかたもしてきましたが、これからは集金のためおうかがいし

納税は納期限内に

個人事業税第一期の納期限は

8月31日(木)

○納税貯蓄組合員は、組合をと おして納めましょう



ご誕生おめでとう

- 松木紀仁(十三) 紀久夫
- 沢田善孝(相内) 京一
- 米谷由紀子(相内) 晴藏
- 工藤秀人(太田) 昇
- 工藤一郎(十三) 弘文
- 今奈徳樹(小池) 武正
- 三上寿美(相内) 光治
- 小寺慎太郎(磯元) 光武
- 井村直人(磯元) 光弘
- 三浦久美子(相内) 金精
- 豊島 夏子(十三) 心一
- 成田布美子(磯元) 雄志

山田美紀(磯元) 藤吉

いつまでもおしあわせに

- 吉田 耕三(相内) 田内
- 工藤 孝雄(磯元) 三
- 鈴木 道雄(十) 三
- 室崎 英子(大) 分
- 山下 京子(大) 元
- 岡本 昭昭(小) 元
- 万谷あき子(磯元) 元

- 今野 雅之(相内) 京
- 成田 三郎(相内) 京
- 佐々木邦昭(北海) 道
- 若山 非子(十) 三
- 鈴木 弘一(岩) 手
- 山野川 豊子(岩) 城
- 加納 愛子(十) 三
- 高橋 愛子(十) 三
- 内藤 綾子(盛) 三
- 工藤 綾子(相) 三
- 小田 朝治(相) 手
- 鈴木 愛子(岩) 内

おくや申上げます

- 高橋 弥太郎(磯元) 94才
- すず田キミ(十三) 60才
- 秋田谷米太郎(桂川) 80才
- 石岡彩子(磯元) 80才
- 小寺りせ(磯元) 77才
- 三和房美(相内) 62才
- 中畑多吉(磯元) 78才
- 若山久藏(十三) 62才

三和教育長死去



七月十二日午前零時十七分、細網肉病院で死去。享年六十二才。

三和さんは、元満洲国陸軍少佐でしたが、終戦により帰村。三十年十月役場入りし、産経、総務各課長を経て三十九年七月教育長に就任。現在二期目でした。

冷蔵庫にしまっておく野菜。おまけに昨夜のおら大丈夫？と思つて、せつぱいといつてみ、そのう果物を腐らせてしまつたという主婦の話の話を聞きました。そうでも。冷蔵庫についても万能ではありません。たまご、牛乳、魚、

豆じてん

れば冷却能力も低下します。気をつけたいのは、それによる食中毒です。

編集室から



○「手にとりやすく、しかも読みやすい」「広報」にするため、これまでの多ページ版からB5版に変更から、今号で三回目になります。皆さんの感想は、いかがでしょうか。遠慮なく、お便りください。ご意見をお寄せください。

○「また、月二回の発行となれば記事の内容もマンネリ化して行くことは否めません。「村の話題」など、明るいニュースがありましたが、編集部であらかじめお知らせいたします。

○「今号から「ふるさと」の歴史」を連載することにしました。村史編さんの過程で断片的な事柄の紹介となりませんが、くわしくは「村史」刊行までお待ちください。

○「七月上旬は低温や集中豪雨に悩まされたが、下旬からうだるような暑さとなり、本格的な夏の到来となりました。しかし、気になるのは、子どもさんがたの水難事故です。水泳には保護者がつきそつても大切ですが、かならず指定された所で泳ぐよう注意してあげてください。事故のない明るい夏休みにするために。

○「先ずは八前半も暑に負けず、すずんで体をきたえましょう。

(Y・K)